

**「経済状況報告」**  
**ワーキングランチ**  
**大村秀章副大臣発言〈仮訳〉**

**経済の現状**

日本経済は、世界経済の力強い拡大に加え、小泉前内閣の累次の構造改革の成果により、景気拡大を持続しています。安倍現内閣においても改革路線を継続し、更なる成果を目指します。

経済の状況と日本の経済政策について、申し上げたいと思います。

**今後の見通し**

日本経済は、主に高水準の企業収益を背景に、設備投資の増加が続いています。雇用者所得も緩やかな増加を続けており、そのもとで個人消費も持ち直しております。

今後については、企業部門の好調さが持続し、これが家計部門へ波及し、国内民間需要に支えられた景気回復が続き、実質2%程度の成長が持続するものと見込まれます。

## 財政健全化

次に、財政健全化への取組について申し上げます。

我が国は、2011 年度に国と地方を合わせた基礎的財政収支を確実に黒字化するため、現在、昨年夏の「基本方針 2006」で示された歳出削減を計画的に実施しております。その後も、2010 年代半ばに向け、債務残高対 GDP 比の発散を止め、安定的に引き下げることを目指しています。

その第一歩である 2007 年度予算編成においては、新規国債発行額を GDP 比 1%弱に相当する、過去最大の 4 兆 5 千億円減額しました。国と地方の基礎的財政収支(プライマリー・バランス)赤字の対 GDP 比は、2002 年度の 5.7%から 2007 年度 0.6%と 5 年連続改善し、この間の改善幅は 5%ポイントを上回る見通しとなっております。

今後の予算編成に当たっては、社会保障、公務員人件費、公共投資などを含めた歳出削減を継続します。また、税の自然増収は安易な歳出に振り向けず、将来の国民負担の軽減に向けるという、本年 1 月に決定した原則を堅持します。

今後とも「成長なくして財政再建なし」の理念の下、生産性向上を通じて成長力を高めると同時に財政再建を着実に進めていきます。

(以上)